

設置年度 令和 4年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科 (必要がある場合) ○○専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉田学園
令和4年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	法人本部企画調整課		
職名・氏名	カチョウ 課長	コタニ 小谷	シンイチ 伸一
電話番号	078-611-1838		
(夜間)	078-611-1838		
e-mail	kikaku@kobe-tokiwa.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) ○○大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

保健科学部

＜口腔保健学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人玉田学園

(2) 大 学 名

神戸常盤大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒653-0838

兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アサヒ ジロウ) 旭 次郎 (昭和61年4月)		
学 長	(ハマダ ミチオ) 濱田 道夫 (平成29年4月)		
学 部 長	(シオタニ ヒデユキ) 塩谷 英之 (令和3年4月)		
学科長等	(ヨシダ ユキエ) 吉田 幸恵 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健科学部 口腔保健学科 学士 (口腔保健学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4 年	70 人	— 人	280 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		70人 人 (ー) [ー]		0.95倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	111 (ー) [ー]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	(ー) [ー]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	93 (ー) [ー]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	67 (ー) [ー]	() []			
入学定員超過率 B / A									0.95				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	67 [ー]	[] ()	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[ー] (ー)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	67 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{67} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 口腔保健学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 目 群 の 始 め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	1					1	1		25
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1					1	1		16
	まなぶる▶ときわびとⅢ	2前	1					1	1		25
	大学道場miniゼミA	1前		1							17
	大学道場miniゼミB	1後		1							12
	超ときわびと	1後		1							2
	小計（6科目）	-	3	3	0	0	0	1	1	0	51
	人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1							
情報メディア演習		1後	1								1
健康スポーツ科学Ⅰ		1前	1								3
健康スポーツ科学Ⅱ		1前		1							2
健康スポーツ科学Ⅲ		1後		1							2
アカデミックライティング		1後	1								3
コミュニケーション論		1前・1後	1								1
英語コミュニケーションⅠ		1前	1								1
英語コミュニケーションⅡ		1後	1								1
英語Aa (Communicative English Basic)		1前・1後		1							2
英語Ab (Communicative English Intermediate)		1前・1後		1							2
英語B (Presentation)		2前・4後		1							1
英語C (Cultural Studies)		2前・4後		1							1
英語D (Academic English)		2・4後		1							1
多文化コミュニケーション		1後		1							1
手話コミュニケーション		1前・1後		1							1
いのちと共生		1後		1							7
人類と地球環境		1前		1							1
暮らしの中の数学		1前・1後		1							1
統計学		1前・1後	1								2
暮らしの中の物理学		1前・1後			1						1
現代社会と化学		1前・1後		1							1
人体のふしぎ		1前・1後		1							6
現代社会と生命科学		1前・1後		1							1
安全学		1前・1後		1					1		6
人類と農学		1前・1後		1							1
プログラミング入門		1前・1後		1							1
日本国憲法		1前・1後		2							1
哲学		1前・1後		1							1
生命と倫理		1前・1後		2							2
芸術文化論		1前・1後		1							3
文学		1前・1後		1							1
日本通史		1前・1後		1							1
世界の時事		1前・1後		1							1
現代社会学		1前・1後		1						1	
経済学		1前・1後		1							1
心理臨床学		1前・1後		2							1
人間関係論		1前・1後		1							1
教育と人間		1前・1後		1					1		3
小計（39科目）	-	10	31	1	0	0	0	1	0	50	

【令和4年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 目 の 群 の 始 め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1 前	2					1	3		22
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1 後	1					1	3		18
	大学道場miniゼミA	1 前		1		3					17
	大学道場miniゼミB	1 後		1		2	1				13
	小計（4科目）	-	3	2	0	5	1	1	3		54
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1					1	1		5
	情報メディア演習	1後	1					1	1		4
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前	1			2					3
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1							2
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1							2
	アカデミックライティング	1後	1								3
	コミュニケーション論	1前	1								1
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								1
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1							2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1							2
	英語Ac (Communicative English Advanced)	3前		1							1
	英 語 B (Presentation Skills)	2前		1							1
	英 語 C (Current Issues)	2後		1							1
	手話コミュニケーション	1前		1							1
	多文化コミュニケーション	1後		1							1
	いのちと共生	1後		1							7
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1前		1							1
	基礎統計学	1前	1								1
	暮らしの中の物理学	1前			1						1
	現代社会と化学	1前		1							1
	人体のふしぎ	1前		1		1					5
	現代社会と生命科学	1前		1							1
	安全学	1前		1					1		6
	人類と農学	1前		1							1
	プログラミング入門	1後		1							1
	日本国憲法	1前		1							1
	哲学と倫理	1前		1							1
	生命と倫理	1前	1								1
	芸術文化論	1前		1							1
	文学	1前		1							1
	日本通史	1前		1							1
	国際社会論	1後		1							2
	現代社会学	1前		1					1		1
	政治学	1後		1							1
	経済学	1前		1							1
	組織マネジメント論	1後		1							1
	心理臨床学	1後		1							1
	人間関係論	1前	1								1
	教育と人間	1前		1					1		3
	災害とまちづくり	1前		1				1			1
	国際理解	1前		1					2		9
	科学技術論	1後		1							3
	小計（44科目）	-	10	33	1	3	0	1	2	0	57

創造実践科目群	地域との協働A		1回・14時	1					1		3	
	地域との協働B		1回・14時	1							2	
	災害とまちづくり		1回・14時	1				1			1	
	コミュニティデザイン		1回・14時	1				1			4	
	ライフデザイン		1回・14時	1				1				
	小計（5科目）		—	0	5	0	0	0	1	1	0	10
専門基礎分野	臨床歯科医学の基礎	全身の健康と口腔科学	1後	1			2					
		人体の構造と機能	1前	4			1					
		口腔の構造と機能	2前	4							1	
		生化学・栄養学	1後	2			1		1			
		病理学	2前	2			1					
		薬理学	2前	2							1	
		微生物学・免疫学	1後	2			1		1			
		遺伝子と再生医療	4前		1						1	
		小計（12科目）	—	17	1	0	3	0	0	1	0	3
	パブリックオーラルヘルス	医療英語Ⅰ	2前	1					1			
		医療英語Ⅱ	2後	1			1					
		公衆衛生学	2前	2								1
		口腔衛生学	1前	2			1			1		
		歯科医療と法律制度	4前	1			2					1
		数理・データサイエンス（推測統計学）	4前	1								2
		歯科医療と経済	4前		1							1
		社会福祉概論	2後		1				1			
		ボランティア論	2後		1				1			
		防災教育と災害援助	3前		1				1			2
小計（10科目）	—	8	4	0	2	0	2	1	0	7		
専門分野	歯科衛生士	歯科衛生士論Ⅰ	1前	1			1				1	
		歯科衛生士論Ⅱ	2前	1			1			1		
		小計（2科目）	—	2			2	0	0	1	0	1
	歯科医療の実践	歯科診療補助論	1前	1			1	1				
		医療安全	2後	1				1				
		歯科臨床検査総論	2後	1				1				2
		歯科理工学	1後	1			1					
		歯科理工学演習	1後	1			1			2		
		歯科診療の補助演習	1後	1			1	1	2	1		
		歯科保存学	2前	2			1					
		歯科補綴学	2前	1			1					
		口腔外科学・歯科麻酔学	2前	2			2					
		歯科矯正学	2後	1			1		1			
		機能再建系歯科診療補助演習	2後	1			1		2	1		
		成育系歯科診療補助演習	3前	1			1		2	1		
	小計（12科目）	—	14	0	0	3	1	2	2	0	2	
	口腔疾患予防	歯科予防処置論	1後	2			1		1			
		歯科予防処置演習Ⅰ	1後	1					1	2		
		歯科予防処置演習Ⅱ	2前	1			1		1	2		
		歯科予防処置演習Ⅲ	2前	1			1		1	1		
		歯周疾患処置演習Ⅰ	2後	1			1		1	1		
		歯周疾患処置演習Ⅱ	3前	1			2		1	1		
		オーラルヘルスマネジメント	3後	1			1					
小計（7科目）		—	8	0	0	2	0	1	2	0		

創造実践科目群	地域との協働A		1通		1						1		3	
	地域との協働B		2通		1					1			3	
	コミュニティデザイン		2後		1					1			2	
	プロジェクトデザイン		2通		1					1				
	超ときわびと		2通		1								1	
小計（5科目）			—	0	5	0	0	1	1	0	0	8		
専門基礎分野	臨床 歯科医学の基礎	全身の健康と口腔科学	1後	1				2					3	
		人体の構造と機能	1前	4			1							
		口腔の構造と機能	2前	4									1	
		生化学・栄養学	1後	2			1			1				
		病理学	2前	2			1							
		薬理学	2前	2									1	
		微生物学・免疫学	1後	2			1			1				
		遺伝子と再生医療	4前		1								1	
	小計（12科目）			—	17	1	0	3	0	0	1	0	3	
	パブリックオーラルヘルス	医療英語Ⅰ	2前	1						1				
		医療英語Ⅱ	2後	1				1						
		公衆衛生学	2前	2									1	
		口腔衛生学	1前	2				1			1			
		歯科医療と法律制度	4前	1				2					1	
		数理・データサイエンス（推測統計学）	4前	1									2	
		歯科医療と経済	4前		1								1	
		社会福祉概論	2後		1					1				
		ボランティア論	2後		1					1				
		防災教育と災害援助	3前		1					1			2	
小計（10科目）			—	8	4	0	2	0	2	1	0	7		
専門分野	歯科 理解衛生士	歯科衛生士論Ⅰ	1前	1				1					1	
		歯科衛生士論Ⅱ	2前	1				1			1			
		小計（2科目）			—	2			2	0	0	1	0	1
	歯科医療の実践	歯科診療補助論	1前	1				1	1					
		医療安全	2後	1					1					
		歯科臨床検査総論	2後	1					1					2
		歯科理工学	1後	1				1						
		歯科理工学演習	1後	1				1				2		
		歯科診療の補助演習	1後	1				1	1	2	1			
		歯科保存学	2前	2				1						
		歯科補綴学	2前	1				1						
		口腔外科学・歯科麻酔学	2前	2				2						
		歯科矯正学	2後	1				1			1			
		機能再建系歯科診療補助演習	2後	1				1			2	1		
		成育系歯科診療補助演習	3前	1				1			2	1		
	小計（12科目）			—	14	0	0	3	1	2	2	0	2	
	口腔疾患予防	歯科予防処置論	1後	2				1			1			
		歯科予防処置演習Ⅰ	1後	1							1	2		
		歯科予防処置演習Ⅱ	2前	1				1			1	2		
		歯科予防処置演習Ⅲ	2前	1				1			1	1		
		歯周疾患処置演習Ⅰ	2後	1				1			1	1		
		歯周疾患処置演習Ⅱ	3前	1				2			1	1		
		オールヘルスマネジメント	3後	1				1						
小計（7科目）			—	8	0	0	2	0	1	2	0			

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

■専任教員等の配置変更について
◎「まなぶる*ときわびとⅠ」を【講師1・助教1】から【講師1・助教3】に変更。併せて兼任・兼任を【兼25】を【兼22】に変更。
◎「まなぶる*ときわびとⅡ」を【講師1・助教1】から【講師1・助教3】に変更。併せて兼任・兼任を【兼16】を【兼18】に変更。
◎「大学道場miniゼミA」に【教授3】を新規追加。
◎「大学道場miniゼミB」に【教授2・准教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼12】を【兼13】に変更。
◎「情報基礎」に【講師1・助教1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼5】に変更。
◎「情報メディア演習」に【講師1・助教1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼4】に変更。
◎「健康スポーツ科学Ⅰ」に【教授2】を新規追加。
◎「人体のふしぎ」に【教授2】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼5】に変更。
■科目の変更について
◎「まなぶる*ときわびとⅢ」を削除。
◎「英語Ac (Communicative English Advanced)」を新規追加。
◎「英語B (Presentation)」を「英語B (Presentation Skills)」に変更。
◎「英語C (Cultural Studies)」を「英語C (Current Issues)」に変更。
◎「英語D (Academic English)」を廃止。
◎「統計学」を「基礎統計学」を名称変更。
◎「哲学」を「哲学と倫理」に名称変更。
◎「世界の時事」を「国際社会論」に名称変更。
◎「政治学」を新設。科目担当者は、
◎「組織マネジメント論」を新設。
◎「国際理解」を新設。
◎「科学技術論」を新設。
■配当年次の変更
◎「コミュニケーション論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「英語Aa (Communicative English Basic)」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「英語Ab (Communicative English Intermediate)」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
◎「手話コミュニケーション」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「暮らしの中の数学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「基礎統計学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「暮らしの中の物理学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「現代社会と化学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「人体のふしぎ」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「現代社会と生命科学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「安全学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「人類と農学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「プログラミング入門」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
◎「日本国憲法」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「哲学と倫理」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「生命と倫理」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
◎「芸術文化論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「文学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「日本通史」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「国際社会論」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
◎「現代社会学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「経済学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「心理臨床学」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
◎「人間関係論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「教育と人間」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「災害とまちづくり」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
◎「地域との協働A」【1・2・3・4通】を【1通】に変更。
◎「地域との協働B」【1・2・3・4通】を【2通】に変更。
◎「コミュニティデザイン」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
◎「プロジェクトデザイン」【1・2・3・4後】を【2通】に変更。
◎「超ときわびと」【1後】を【2通】に変更。
■科目区分変更
◎「超ときわびと」を【学びの始め科目群】から【創造実践科目群】に変更。
◎「災害とまちづくり」を【創造実践科目群】から【人間探求科目群】に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
71 科目	63 科目	1 科目	135 科目	71 科目 []	66 科目 [3]	1 科目 []	138 科目 [3]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	現代社会と化学	1	1前	一般	選択	授業担当適任者不在のため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	英語D (Academic English)	1	3・4前	一般	選択	専門科目にて学習内容を補填可能なため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の「現代社会と化学」について、担当者が急遽退職し、授業担当適任者が見つからず未開講となった。同科目は、必修科目でなく、一般教養選択科目である。本年度より本学では基盤科目の充実を図るため3科目を新たに設置しており、教育に差しさわりのないと考えている。学生へは履修ガイダンス時に選択可能授業科目一覧を配布し、周知している。来年度は、開講予定であり、希望する2回生以上については履修可能となっている。

「英語D」について、各学科の専門科目にて従来の英語Dの内容を学習できる科目を配置するため削除する。また、本科目は3年次からの開講科目であり、特に学生には周知せずとも教育には差し支えないものと判断している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{135} = \boxed{1.48} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸常盤大学短期大学部、神戸常盤大学附属ときわ幼稚園と共用			
	校 舎 敷 地	0㎡	19,723.54㎡	918.21㎡	20,658.06㎡				
	運動場用地	0㎡	6,267.00㎡	0㎡	6,267.00㎡				
	小 計	0㎡	26,006.85㎡	918.21㎡	26,925.06㎡				
	そ の 他	0㎡	6,131.64㎡	0㎡	6,131.64㎡				
	合 計	0㎡	32,122.18㎡	918.21㎡	33,056.70㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸常盤大学短期大学部と共用				
	0㎡ (0㎡)	25,657㎡ (25,657㎡)	0㎡ (0㎡)	25,657㎡ (25,657㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	21室	3室	22室	2室 (補助職員 人)	1室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		保健科学部 口腔保健学科		14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部等单位での特定 が不能なため大学全 体数。図書22,363冊 は、	
	大学船体	81,464 [9,886] (77,464 [9,736])	705 [185] (665 [175])	5,237 [3,847] (3,882 [2,456])	2,159 (1999)	8,469 (7340)	153 (138)		
	計	81,464 [9,886] (77,464 [9,736])	705 [185] (665 [175])	5,237 [3,847] (3,882 [2,456])	2,159 (1999)	8,469 (7340)	153 (138)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	823㎡		118席		119,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,500㎡ な し								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	500千円	1,500千円	1,500千円	
		共 同 研 究 費 等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	0千円	10,000千円	40,000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	1,460千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	神戸常盤大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所 在 地	定員変更（10） （編入学▲5）
保健科学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
口腔保健学科	4	310	—	1,240	—	1.06	1.11	令和4	平成20	—	
医療検査学科	4	70	—	280	学士（口腔保健学）	0.95	0.95	令和4	令和4	同上	
看護学科	4	80	—	320	学士（医療検査学）	1.08	1.21	—	平成20	同上	
診療放射線学科	4	85	—	340	学士（看護学）	1.10	1.10	令和4	平成20	同上	
	4	75	—	300	学士（診療放射線学）	1.14	1.17	令和2	令和2	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	
教育学部	—	80	—	320	—	1.13	1.11	—	平成27	—	
こども教育学科	4	80	—	320	学士（教育学）	1.13	1.11	—	平成27	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	
大学全体	—	390	—	1,560	—	—	—	—	—	—	
大 学 の 名 称	神戸常盤大学短期大学部						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所 在 地	令和4年学生募集停止 令和4年学生募集停止
口腔保健学科	3	—	—	—	短期大学士（口腔保健学）	—	—	—	平成20	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	
看護学科通信制課程	2	—	—	—	短期大学士（看護学）	—	—	—	平成17	同上	
大学全体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健科学部 診療放射線学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	吉田 幸恵 (70) <令和4年4月> 博士(薬学)
		歯科衛生士論Ⅰ 学びの基礎 全身の健康と口腔科学 栄養指導 子どもの食と栄養 研究方法論 歯科医療と法律制度 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅲ
専	教授	福田 昌代 (56) <令和6年4月> 博士(歯学)
		応用臨地実習 健康教育法 基礎臨地実習 研究方法論 地域口腔保健支援実習 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅲ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	福田 昌代 (56) <令和4年4月> 博士(歯学)
		口腔健康支援総論 学びの基礎 早期臨地実習 口腔健康支援各論 口腔衛生管理演習 ライフステージ別健康支援演習 医療連携 基礎臨地実習
専	教授	八木 孝和 (53) <令和4年4月> 博士(歯学)
		人体の構造と機能 学びの基礎 早期臨地実習 全身の健康と口腔科学 生化学・栄養学 歯科理工学 歯科理工学演習 口腔科学・歯科麻酔学 歯科矯正学 子どもの歯科学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 育成系歯科診療補助演習 応用臨地実習 医療連携 IPW(多職種連携)論 研究方法論 発展臨地実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	高橋 由希子 (51) <令和5年4月> 博士(歯学)
		歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨地実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	吉田 幸恵 (70) <令和4年4月> 博士(薬学)
		歯科衛生士論Ⅰ 学びの基礎 全身の健康と口腔科学 栄養指導 子どもの食と栄養 研究方法論 歯科医療と法律制度 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅲ 大学進修miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 早期臨地実習
専	教授	福田 昌代 (56) <令和6年4月> 博士(歯学)
		応用臨地実習 健康教育法 基礎臨地実習 研究方法論 地域口腔保健支援実習 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅲ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	福田 昌代 (56) <令和4年4月> 博士(歯学)
		口腔健康支援総論 学びの基礎 早期臨地実習 口腔健康支援各論 口腔衛生管理演習 ライフステージ別健康支援演習 医療連携 基礎臨地実習 大学進修miniゼミA
専	教授	八木 孝和 (53) <令和4年4月> 博士(歯学)
		人体の構造と機能 学びの基礎 早期臨地実習 全身の健康と口腔科学 生化学・栄養学 歯科理工学 歯科理工学演習 口腔科学・歯科麻酔学 歯科矯正学 子どもの歯科学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 育成系歯科診療補助演習 応用臨地実習 医療連携 IPW(多職種連携)論 研究方法論 発展臨地実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 大学進修miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ
兼任	講師	森谷 悠文 (52) <令和5年4月> 博士(歯学)
		生化学・栄養学 歯科理工学 歯科理工学演習 学びの基礎 早期臨地実習
専	教授	高橋 由希子 (51) <令和5年4月> 博士(歯学)
		歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨地実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高橋 由希子 (51) <令和4年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	高橋 由希子 (51) <令和4年4月> 博士(歯学)
		学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置論			学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置論 大学進路miniゼミA
専	教授	山城 圭介 (44) <令和6年4月> 博士(歯学)	専	教授	山城 圭介 (44) <令和6年4月> 博士(歯学)
		歯周疾患知見演習Ⅱ 応用臨床実習 国際保健医療活動Ⅱ 発展臨床実習 歯科医療と法律制度 研究方法論 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			歯周疾患知見演習Ⅱ 応用臨床実習 国際保健医療活動Ⅱ 発展臨床実習 歯科医療と法律制度 研究方法論 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	山城 圭介 (44) <令和4年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	山城 圭介 (44) <令和4年4月> 博士(歯学)
		口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 微生物学・免疫学 病理学 歯科保存学 歯科補綴学 口腔外科学・歯科麻酔学 医療英語Ⅱ 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習			口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 微生物学・免疫学 病理学 歯科保存学 歯科補綴学 口腔外科学・歯科麻酔学 医療英語Ⅱ 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習 大学進路miniゼミB 人体のふしぎ
専	教授	江崎 ひろみ (57) <令和6年4月> 博士(保健学)	専	教授	江崎 ひろみ (57) <令和6年4月> 博士(保健学)
		オーラルリハビリテーション論 キャリアパスⅡ 医療面接 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習			オーラルリハビリテーション論 キャリアパスⅡ 医療面接 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習
兼任	講師	江崎 ひろみ (57) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	江崎 ひろみ (57) <令和4年4月> 博士(保健学)
		歯科診療補助論 学びの基礎 歯科診療の補助演習 歯科衛生士論Ⅱ 子どもの食と栄養			歯科診療補助論 学びの基礎 歯科診療の補助演習 歯科衛生士論Ⅱ 子どもの食と栄養 早期臨床実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	上原 弘美 (61) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)	専	准教授	上原 弘美 (61) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)
		応用臨床実習 IPW(多職種連携)論 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習 歯科医療管理実習 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ			応用臨床実習 IPW(多職種連携)論 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習 歯科医療管理実習 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	上原 弘美 (61) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)	兼任	講師	上原 弘美 (61) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)
		歯科診療補助論 学びの基礎 早期臨床実習 歯科診療の補助演習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨床実習			歯科診療補助論 学びの基礎 早期臨床実習 歯科診療の補助演習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨床実習 大学運営in1stゼミB
専任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)	専任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)
		成育系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨床実習 オーラルリハビリテーション演習 研究方法論 発展臨床実習 口腔健康実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ			成育系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨床実習 オーラルリハビリテーション演習 研究方法論 発展臨床実習 口腔健康実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ
兼任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)	兼任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)
		学びの基礎 早期臨床実習 歯科診療の補助演習 発展臨床実習 基礎臨床実習			学びの基礎 早期臨床実習 歯科診療の補助演習 発展臨床実習 基礎臨床実習
専任	講師	破産 幸枝 (56) <令和5年4月> 修士(教育学)	専任	講師	破産 幸枝 (56) <令和5年4月> 修士(教育学)
		歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 医療面接 研究方法論 発展臨床実習 口腔健康実習Ⅰ(小児) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ			歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 医療面接 研究方法論 発展臨床実習 口腔健康実習Ⅰ(小児) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	破魔 幸枝 (56) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	破魔 幸枝 (56) <令和4年4月> 修士(教育学)
		学びの基礎 早期臨地実習 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ			学びの基礎 早期臨地実習 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ
専任	講師	中村 美紀 (50) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	専任	講師	中村 美紀 (50) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)
		学びの基礎 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 歯科矯正学 機能再建系歯科診療補助演習 子どもの歯科学			学びの基礎 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 歯科矯正学 機能再建系歯科診療補助演習 子どもの歯科学
専任	講師	室崎 友輔 (41) <令和6年4月> 修士(人間科学)	専任	講師	室崎 友輔 (41) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		防災教育と災害援助 インターンシップ実習 研究方法論 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ			防災教育と災害援助 インターンシップ実習 研究方法論 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ
兼任	講師	室崎 友輔 (41) <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	室崎 友輔 (41) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		学びの基礎 まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 災害とまちづくり コミュニティデザイン ライフデザイン 社会福祉概論 ボランティア論			学びの基礎 まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 災害とまちづくり コミュニティデザイン プロジェクトデザイン 社会福祉概論 ボランティア論 情報基礎 情報メディア演習
専任	講師	宮澤 純子 (41) <令和6年4月> 博士(歯学)	専任	講師	宮澤 純子 (41) <令和6年4月> 博士(歯学)
		国際保健医療活動Ⅱ 応用臨地実習 健康教育法 発展臨地実習 研究方法論 口腔健康管理実習Ⅲ(障がい者) 卒業研究Ⅰ 健康教育の実践 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅲ			国際保健医療活動Ⅱ 応用臨地実習 健康教育法 発展臨地実習 研究方法論 口腔健康管理実習Ⅲ(障がい者) 卒業研究Ⅰ 健康教育の実践 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅲ
兼任	講師	宮澤 純子 (41) <令和4年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	宮澤 純子 (41) <令和4年4月> 博士(歯学)
		学びの基礎 早期臨地実習 口腔衛生管理演習 医療英語Ⅱ ライフステージ別健康支援演習 基礎臨地実習			学びの基礎 早期臨地実習 口腔衛生管理演習 医療英語Ⅱ ライフステージ別健康支援演習 基礎臨地実習
専任	助教	伴仲 謙欣 (49) <令和6年4月> 修士(教育学)	専任	助教	伴仲 謙欣 (49) <令和6年4月> 修士(教育学)
		インターンシップ実習			インターンシップ実習
兼任	講師	伴仲 謙欣 (49) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	伴仲 謙欣 (49) <令和4年4月> 修士(教育学)
		学びの基礎 まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 安全学 現代社会学 教育と人間 地域との協働A			学びの基礎 まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 安全学 現代社会学 教育と人間 地域との協働A 情報基礎 情報メディア演習 国際保健
専任	助教	氏橋 貴子 (47) <令和6年4月> 学士(経営学)	専任	助教	氏橋 貴子 (47) <令和6年4月> 学士(経営学)
		育成系歯科診療補助演習 応用臨地実習 発展臨地実習 IPH(多職種連携)演習 口腔健康管理学実習Ⅲ(障がい者) 災害時の歯科衛生士の働き			育成系歯科診療補助演習 応用臨地実習 発展臨地実習 IPH(多職種連携)演習 口腔健康管理学実習Ⅲ(障がい者) 災害時の歯科衛生士の働き
兼任	講師	氏橋 貴子 (47) <令和4年4月> 学士(経営学)	兼任	講師	氏橋 貴子 (47) <令和4年4月> 学士(経営学)
		学びの基礎 早期臨地実習 歯科理工学演習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習			学びの基礎 早期臨地実習 歯科理工学演習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (生 誕) 年 月 ＜就任(予定)年＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (生 誕) 年 月 ＜就任(予定)年＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		水村 香子 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(口腔保健学)			水村 香子 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(口腔保健学)
専任	助教	学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯科予防処置演習Ⅳ 歯周病患部処置演習Ⅰ 子ども学 基礎臨床実習 歯周病患部処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 発展臨床実習 口腔健康実習Ⅰ(小児) 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き	専任	助教	学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯科予防処置演習Ⅳ 歯周病患部処置演習Ⅰ 子ども学 基礎臨床実習 歯周病患部処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 発展臨床実習 口腔健康実習Ⅰ(小児) 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き 国際理解
専任	助教	浅枝 麻夢可 (33) ＜令和6年4月＞ 修士(口腔健康科学)	兼任	講師	浅枝 麻夢可 (33) ＜令和6年4月＞ 修士(口腔健康科学)
		インターンシップ実習 国際保健医療活動Ⅱ 応用臨床実習 健康教育法 発展臨床実習 地域口腔保健支援実習 健康教育の実践			インターンシップ実習 国際保健医療活動Ⅱ 応用臨床実習 健康教育法 発展臨床実習 地域口腔保健支援実習 健康教育の実践
兼任	講師	浅枝 麻夢可 (33) ＜令和4年4月＞ 修士(口腔健康科学)	兼任	講師	浅枝 麻夢可 (33) ＜令和4年4月＞ 修士(口腔健康科学)
		学びの基礎 早期臨床実習 歯科衛生士論Ⅱ 口腔衛生管理演習 ライフステージ別健康支援実習 基礎臨床実習			学びの基礎 早期臨床実習Ⅱ 口腔衛生管理演習 基礎臨床実習 まなふるときわびとⅠ まなふるときわびとⅡ
専任	助教	川野 亜希 (29) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	専任	助教	西條 亜希 (29) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)
		口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 生化学・栄養学 微生物学・免疫学 歯科理工学演習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 栄養指導 ※ 歯周病患部処置演習Ⅰ 子どもの食と栄養 基礎臨床実習 キャリアパスⅡ 応用臨床実習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 発展臨床実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ			口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 生化学・栄養学 微生物学・免疫学 歯科理工学演習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 栄養指導 歯周病患部処置演習Ⅰ 子どもの食と栄養 基礎臨床実習 キャリアパスⅡ 応用臨床実習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 発展臨床実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ まなふるときわびとⅠ まなふるときわびとⅡ
兼任	教授	瀧田 道夫 (72) ＜令和4年4月＞ doctora de 3e cycle (Histoire)(フランス)	兼任	教授	瀧田 道夫 (72) ＜令和4年4月＞ doctora de 3e cycle (Histoire)(フランス)
		経済学 いのちと共生			経済学 いのちと共生 国際社会論 科学技術論
兼任	教授	塩谷 英之 (66) ＜令和4年9月＞ 医学博士	兼任	教授	塩谷 英之 (66) ＜令和4年9月＞ 医学博士
		いのちと共生			いのちと共生 人体のふしぎ 生命と倫理
兼任	教授	坂本 秀生 (60) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	兼任	教授	坂本 秀生 (59) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		遺伝子と再生医療 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			遺伝子と再生医療 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ
兼任	教授	栗岡 誠司 (70) ＜令和4年9月＞ 修士(教育学)			
		大学道場miniゼミB 現代社会と化学			
兼任	教授	安藤 啓司 (70) ＜令和4年4月＞ 医学博士			
		大学道場miniゼミA 人体のふしぎ ※			
兼任	教授	林 伸英 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	兼任	教授	林 伸英 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA
兼任	教授	柳倉 匠文 (64) ＜令和4年4月＞ 医学博士	兼任	教授	柳倉 匠文 (64) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA
兼任	教授	松元 英理子 (63) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)	兼任	教授	松元 英理子 (63) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)
		大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学			大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	新谷 路子 (58) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	新谷 路子 (58) <令和4年4月> 博士(保健学)
		大学道場miniゼミA 人体のふしぎ			大学道場miniゼミA 人体のふしぎ
兼任	教授	大澤 佳代 (57) <令和6年9月> 博士(保健学)	兼任	教授	大澤 佳代 (55) <令和6年9月> 博士(保健学)
		IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論 大学道場miniゼミA
兼任	教授	布引 治 (57) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (54) <令和4年4月> 博士(医学)
		大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA
兼任	教授	鈴木 高史 (54) <令和4年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (54) <令和4年4月> 博士(第二基礎医学)
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 国際理解 科学技術論
兼任	教授	松田 正文 (82) <令和4年4月> 医学士	兼任	教授	松田 正文 (82) <令和4年4月> 医学士
		人体のふしぎ 生命と倫理			大学道場miniゼミB
			兼任	教授	今井 方丈 (68) <令和4年4月> 学士(保健衛生学)
					大学道場miniゼミA
兼任	教授	谷口 英明 (66) <令和4年4月> 文学士	兼任	教授	谷口 英明 (66) <令和4年4月> 文学士
		コミュニケーション論 芸術文化論			コミュニケーション論 芸術文化論
			兼任	教授	南 利明 (56) <令和4年4月> 修士(医歯科学)
					まなふる*とさわびとⅠ
兼任	教授	山崎 麻由美 (61) <令和4年4月> 文学修士 Master of Education in TESOL(米国)	兼任	教授	山崎 麻由美 (61) <令和4年4月> 文学修士 Master of Education in TESOL(米国)
		英語コミュニケーションⅠ 英語D (Academic English)			英語コミュニケーションⅡ 英語Ac (Communicative English Advanced)
兼任	教授	高久 圭二 (57) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	教授	高久 圭二 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 暮らしの中の物理学			大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 暮らしの中の物理学 科学技術論
兼任	教授	對開 博之 (52) <令和6年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	對開 博之 (51) <令和6年4月> 博士(保健学)
		IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論
兼任	教授	長尾 厚子 (74) <令和4年9月> 修士(人間科学)			
		いのちと共生			
兼任	教授	岩越 貴恵 (72) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 貴恵 (72) <令和4年4月> 医学博士
		大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	柳本 有二 (65) <令和4年4月> 博士(医学)			
		大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ ※ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ			
			兼任	教授	十九百 君子 (62) <令和4年9月> 修士(社会学) 大学道場miniゼミB
兼任	教授	庄司 靖枝 (62) <令和4年4月> 修士(看護学)	兼任	教授	庄司 靖枝 (62) <令和4年4月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミA
		大学道場miniゼミA			
兼任	教授	生島 祥江 (62) <令和4年4月> 修士(社会学)			
		大学道場miniゼミA			
兼任	教授	尾崎 雅子 (59) <令和4年4月> 修士(人間科学)	兼任	教授	尾崎 雅子 (59) <令和4年4月> 修士(人間科学) 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB いのちと共生
		大学道場miniゼミA			
兼任	教授	中田 康夫 (55) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	教授	中田 康夫 (55) <令和4年4月> 修士(保健学) まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ まなふる*ときわびとⅢ 超ときわびと 情報基礎 いのちと共生 統計学 コミュニティデザイン 数理・データサイエンス(推測統計学)
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ まなふる*ときわびとⅢ 超ときわびと 情報基礎 いのちと共生 統計学 コミュニティデザイン 数理・データサイエンス(推測統計学)			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 超ときわびと 情報基礎 いのちと共生 基礎統計学 数理・データサイエンス(推測統計学) 情報メディア演習
兼任	教授	大森 雅人 (60) <令和4年9月> 博士(学校教育学)	兼任	教授	大森 雅人 (60) <令和4年9月> 博士(学校教育学) 情報メディア演習 情報基礎
		情報メディア演習			
兼任	教授	光成 研一郎 (51) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	光成 研一郎 (51) <令和4年4月> 修士(教育学) まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ まなふる*ときわびとⅢ 大学道場miniゼミB 教育と人間
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ まなふる*ときわびとⅢ 大学道場miniゼミB 教育と人間			
兼任	教授	中田 尚美 (62) <令和4年9月> 博士(教育学)	兼任	教授	中田 尚美 (62) <令和4年9月> 博士(教育学) 大学道場miniゼミA
		大学道場miniゼミB			
兼任	教授	中西 利恵 (63) <令和5年9月> 学士(文学)	兼任	教授	中西 利恵 (62) <令和5年9月> 学士(文学) 子ども学 キャリアパスⅠ
		子ども学 キャリアパスⅠ			
兼任	教授	牛頭 智宏 (60) <令和4年9月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	牛頭 智宏 (60) <令和4年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング
		アカデミックライティング			
兼任	教授	橋本 好市 (54) <令和4年9月> 修士(学術)	兼任	教授	橋本 好市 (54) <令和4年9月> 修士(学術) 大学道場miniゼミA
		大学道場miniゼミB			
兼任	教授	山下 敬子 (51) <令和4年9月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	山下 敬子 (51) <令和4年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング
		アカデミックライティング			
兼任	准教授	坊垣 美也子 (64) <令和4年9月> 博士(医学)	兼任	准教授	坊垣 美也子 (64) <令和4年9月> 博士(医学) 大学道場miniゼミB
		大学道場miniゼミB			
兼任	准教授	関 雅幸 (57) <令和4年9月> 博士(理学)	兼任	准教授	関 雅幸 (57) <令和4年9月> 博士(理学) プログラミング入門
		大学道場miniゼミB プログラミング入門			
兼任	准教授	高松 邦彦 (47) <令和4年4月> 博士(医学)			
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ まなふる*ときわびとⅢ 超ときわびと 暮らしの中の数学 統計学 芸術文化論 ※ コミュニティデザイン 数理・データサイエンス(推測統計学)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	木村 英理 (46) <令和4年4月> 学士(診療放射線技術学)			
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ まなふる*ときわびとⅢ			
兼任	准教授	魚崎 須美 (62) <令和4年9月> 修士(地域看護学)	兼任	教授	魚崎 須美 (62) <令和4年9月> 修士(地域看護学)
		大学退場miniゼミB			大学退場miniゼミA
兼任	准教授	藤原 桜 (61) <令和6年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	藤原 桜 (60) <令和6年4月> 修士(看護学)
		国際保健医療活動Ⅰ			国際保健医療活動Ⅰ 大学退場miniゼミB 国際理解
兼任	准教授	黒野 利佐子 (57) <令和4年4月> Master of Science in Nursing(米国)	兼任	准教授	黒野 利佐子 (57) <令和4年4月> Master of Science in Nursing(米国)
		大学退場miniゼミA 国際保健医療活動Ⅱ			大学退場miniゼミA 国際保健医療活動Ⅱ 国際理解
兼任	准教授	島内 敦子 (57) <令和4年4月> 看護学士	兼任	准教授	島内 敦子 (57) <令和4年4月> 看護学士
		大学退場miniゼミA			大学退場miniゼミA
兼任	准教授	山口 有美 (56) <令和4年9月> 博士(学術)	兼任	准教授	山口 有美 (56) <令和4年9月> 博士(学術)
		大学退場miniゼミB			大学退場miniゼミB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	准教授	岩切 由紀 (55) <令和4年4月> 修士(看護学)		
		大学道場miniゼミA		
兼任	准教授	立堀 祐子 (50) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	准教授
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 大学道場miniゼミA		
兼任	准教授	笹井 隆邦 (62) <令和4年4月> 農学修士	兼任	准教授
		人間と地球環境		
兼任	准教授	熊本 聡美 (56) <令和6年9月> 英文学修士	兼任	准教授
		コミュニケーショングリッシュ		
兼任	准教授	近藤 みづき (48) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ		
兼任	講師	田村 周二 (64) <令和4年4月> 専門学校卒	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅡ 人体のふしぎ		
兼任	講師	杉山 育代 (64) <令和4年4月> 学士(教養)	兼任	講師
		人体のふしぎ 歯科臨床検査総論		
兼任	講師	今西 麻樹子 (64) <令和4年9月> 学士(保健衛生学)	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅡ		
兼任	講師	湊谷 雪子 (47) <令和4年4月> 学士(薬学)	兼任	講師
		地域との協働B		
兼任	講師	澤村 暢 (41) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ 歯科臨床検査総論		
兼任	講師	清越 祐志 (34) <令和4年4月> 修士(人間健康科学)	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ いのちと共生		
兼任	講師	伊藤 彰 (49) <令和4年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ		
兼任	准教授	伊藤 愛 (46) <令和4年9月> 修士(看護学)	兼任	准教授
		大学道場miniゼミB		
兼任	准教授	笹井 隆邦 (62) <令和4年4月> 農学修士	兼任	准教授
		人間と地球環境 大学道場miniゼミB		
兼任	准教授	熊本 聡美 (55) <令和6年9月> 英文学修士	兼任	准教授
		コミュニケーショングリッシュ 国際理解		
兼任	准教授	近藤 みづき (48) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ		
兼任	講師	田村 周二 (64) <令和4年4月> 専門学校卒	兼任	講師
		人体のふしぎ		
兼任	講師	杉山 育代 (64) <令和4年4月> 学士(教養)	兼任	講師
		人体のふしぎ 歯科臨床検査総論		
兼任	講師	今西 麻樹子 (64) <令和4年9月> 学士(保健衛生学)	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅡ		
兼任	講師	湊谷 雪子 (47) <令和4年4月> 学士(薬学)	兼任	講師
		地域との協働B		
兼任	講師	澤村 暢 (41) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ 歯科臨床検査総論 まなふる*とさわびとⅡ		
兼任	講師	清越 祐志 (34) <令和4年4月> 修士(人間健康科学)	兼任	講師
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ いのちと共生		
兼任	講師	伊藤 彰 (49) <令和4年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ 情報メディア演習 暮らしの中の数学		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	桂 千広 (35) <令和4年4月> 修士(農学)	兼任	講師	桂 千広 (35) <令和4年4月> 修士(農学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 国際理解
兼任	講師	永島 聡 (57) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	講師	永島 聡 (57) <令和4年4月> 博士(学術)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ 大学進路minゼミA 心理臨床学 人間関係論			心理臨床学 人間関係論
兼任	講師	尾崎 優子 (51) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	講師	尾崎 優子 (51) <令和4年4月> 修士(学術)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働A
兼任	講師	原 希代 (48) <令和4年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	原 希代 (48) <令和4年4月> 修士(看護学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ			まなふる*とさわびとⅠ
兼任	講師	中村 由果理 (47) <令和4年9月> 修士(看護学)	兼任	講師	中村 由果理 (47) <令和4年9月> 修士(看護学)
		まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅡ
兼任	講師	柳原 利佳子 (54) <令和5年9月> 修士(教育学)	兼任	講師	柳原 利佳子 (54) <令和5年9月> 修士(教育学)
		子どもの心理学			子どもの心理学
兼任	講師	大城 亜水 (35) <令和4年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大城 亜水 (35) <令和4年4月> 博士(経済学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 地域との協働A 情報基礎 情報メディア演習
兼任	講師	京橋 重智 (34) <令和4年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	京橋 重智 (34) <令和4年4月> 修士(人間科学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ 地域との協働B			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 地域との協働B
兼任	助教	鳥袋 梢 (42) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	鳥袋 梢 (42) <令和4年4月> 博士(医学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ			まなふる*とさわびとⅠ 国際理解
兼任	助教	三浦 真希子 (40) <令和4年4月> 修士(保健学)			
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅢ			
兼任	助教	佐野 太亮 (32) <令和4年4月> 学士(医療検査学)	兼任	助教	佐野 太亮 (32) <令和4年4月> 学士(医療検査学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅢ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 情報基礎
			兼任	助教	長谷川 大輔 (35) <令和4年4月> 修士(保健福祉学)
					まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	市川 尚 (31) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	市川 尚 (31) <令和4年4月> 修士(保健学)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅢ			まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅡ 情報基礎
兼任			兼任	助教	北川 薫 (27) <令和4年4月> 専門学校卒
					まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅡ
兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (50) <令和4年4月> 学士(看護学)	兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (50) <令和4年4月> 学士(看護学)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅢ 地域との協働A			まなぶる*ときわびとⅠ 地域との協働A 国際理解
兼任	助教	坂井 利衣 (40) <令和4年4月> 修士(保健看護学)	兼任	助教	坂井 利衣 (40) <令和4年4月> 修士(保健看護学)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅢ			まなぶる*ときわびとⅠ
兼任	助教	松岡 真菜 (40) <令和4年4月> 学士(看護学)	兼任	助教	松岡 真菜 (40) <令和4年4月> 学士(看護学)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅢ			まなぶる*ときわびとⅠ
兼任			兼任	教授	中野 順子 (74) <令和4年4月> 修士(医療安全管理学)
					国際理解
兼任	講師	小嶋 遼介 (26) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	小嶋 遼介 (26) <令和4年4月> 修士(教育学)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅢ			まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅡ
兼任	講師	内橋 一恵 (41) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	講師	内橋 一恵 (41) <令和4年4月> 修士(学術)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅡ まなぶる*ときわびとⅢ 多文化コミュニケーション			まなぶる*ときわびとⅡ 多文化コミュニケーション 国際社会論
兼任	講師	小野 昌二 (55) <令和4年4月> 修士(学校教育学)			
		健康スポーツ科学Ⅱ			
兼任	講師	神田 大輔 (47) <令和4年9月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 大輔 (47) <令和4年9月> 博士(文学)
		アカデミックライティング			アカデミックライティング
兼任	講師	千石 真理 (58) <令和4年4月> 医学博士	兼任	講師	千石 真理 (58) <令和4年4月> 医学博士
		いのちと共生 英語コミュニケーションⅡ 英語Aa (Communicative English Basic)			いのちと共生
兼任	講師	小西 千鶴 (57) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	小西 千鶴 (57) <令和4年4月> 文学修士
		英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語B (Presentation) 英語C (Cultural Studies)			英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語B (Presentation Skills) 英語C (Current Issues)
兼任	講師	Carol K.Dallos (63) <令和4年9月> Bachelor of Science in Business Administration(米国)	兼任	講師	Carol K.Dallos (63) <令和4年9月> Bachelor of Science in Business Administration(米国)
		英語Ab (Communicative English Intermediate)			英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語Aa (Communicative English Basic)
兼任	講師	田中 達也 (38) <令和4年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	田中 達也 (38) <令和4年4月> 学士(教育学)
		まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅡ			まなぶる*ときわびとⅠ まなぶる*ときわびとⅡ
兼任	講師	松本 大祐 (27) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	松本 大祐 (27) <令和4年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学Ⅰ			健康スポーツ科学Ⅰ
兼任	講師	柳 聡晴 (74) <令和4年4月> 体育学士	兼任	講師	柳 聡晴 (74) <令和4年4月> 体育学士
		健康スポーツ科学Ⅱ			健康スポーツ科学Ⅱ
兼任	講師	柳本 大三 (67) <令和4年4月> 経営学士	兼任	講師	柳本 大三 (67) <令和4年4月> 経営学士
		健康スポーツ科学Ⅲ			健康スポーツ科学Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	浅野 京子 (74) <令和4年4月> 専門学校卒	兼任	講師	浅野 京子 (74) <令和4年4月> 専門学校卒
		手話コミュニケーション			手話コミュニケーション
兼任	講師	江上 芳子 (80) <令和4年9月> 専門学校卒	兼任	講師	江上 芳子 (80) <令和4年9月> 専門学校卒
		いのちと共生			いのちと共生
兼任	講師	金 千秋 (70) <令和4年4月> 理学士	兼任	講師	金 千秋 (70) <令和4年4月> 理学士
		安全学 防災教育と災害援助			安全学 防災教育と災害援助 国際理解
兼任	講師	西岡 伸紀 (64) <令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	西岡 伸紀 (64) <令和4年4月> 教育学修士
		安全学			安全学
兼任	講師	馬場 栄二 (56) <令和4年4月> 法学士	兼任	講師	馬場 栄二 (56) <令和4年4月> 法学士
		安全学			安全学
兼任	講師	伴 俊作 (53) <令和4年4月> 経済学士			
		安全学			
兼任	講師	柴山 慶太 (43) <令和4年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	柴山 慶太 (43) <令和4年4月> 法務博士(専門職)
		安全学 日本国憲法			安全学 日本国憲法
兼任	講師	本田 英理 (52) <令和4年4月> -			
		安全学			
			兼任	講師	菊地 隆之 (46) <令和4年4月> 学士(経営学)
					安全学
兼任	講師	大宮 誠司 (71) <令和4年4月> 農学修士	兼任	講師	大宮 誠司 (71) <令和4年4月> 農学修士
		人類と農学			人類と農学
兼任	講師	中野 康次郎 (55) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (55) <令和4年4月> 文学修士
		哲学			哲学と倫理
兼任	講師	堤玉 正幸 (72) <令和4年9月> 博士(文学)			
		生命と倫理			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	富士 莊貴 (52) <令和4年4月> 学士(文学)			
		芸術文化論			
兼任	講師	蕨 葉子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	蕨 葉子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)
		文学			文学
兼任	講師	片山 正彦 (48) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (48) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本通史			日本通史
兼任	講師	山田 勝久 (78) <令和4年9月> 文学修士			
		世界の時事			
兼任	講師	足立 了平 (67) <令和4年4月> 歯学博士	兼任	講師	足立 了平 (67) <令和4年4月> 歯学博士
		教育と人間			教育と人間
兼任	講師	関本 雅子 (72) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (72) <令和4年4月> 医学士
		教育と人間			教育と人間
兼任	講師	中川 欣也 (67) <令和4年9月> 高等学校卒			
		災害とまちづくり			
			兼任	講師	森永 達男 (64) <令和4年4月> 博士(学術)
					災害とまちづくり
兼任	講師	西 修 (62) <令和4年9月> 工学修士	兼任	講師	西 修 (62) <令和4年9月> 工学修士
		コミュニティデザイン			コミュニティデザイン
兼任	講師	藤岡 健 (52) <令和4年9月> 法学士	兼任	講師	藤岡 健 (52) <令和4年9月> 法学士
		コミュニティデザイン			コミュニティデザイン
兼任	講師	竹内 雅規 (65) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	竹内 雅規 (64) <令和5年4月> 歯学博士
		口腔の構造と機能			口腔の構造と機能
兼任	講師	國友 勝 (82) <令和5年4月> 薬学博士	兼任	講師	國友 勝 (81) <令和5年4月> 薬学博士
		薬理学			薬理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	新庄 文明 (75) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	新庄 文明 (74) <令和5年4月> 医学博士
		公衆衛生学			公衆衛生学
兼任	講師	高橋 千鶴 (70) <令和7年4月> 専門学校卒	兼任	講師	高橋 千鶴 (67) <令和7年4月> 専門学校卒
		歯科医療と法律制度			歯科医療と法律制度
兼任	講師	山下 妙矢佳 (37) <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	山下 妙矢佳 (34) <令和7年4月> 博士(経営学)
		歯科医療と経済			歯科医療と経済 組織マネジメント論
兼任	講師	宮田 英和 (66) <令和6年4月> 工学士	兼任	講師	宮田 英和 (64) <令和6年4月> 工学士
		防災教育と災害援助			防災教育と災害援助 救急学
兼任	講師	村田 良子 (60) <令和4年4月> 修士(地域保健)	兼任	講師	村田 良子 (60) <令和4年4月> 修士(地域保健)
		歯科衛生士論Ⅰ			歯科衛生士論Ⅰ
兼任	講師	駒井 正 (76) <令和6年9月> 歯学博士	兼任	講師	駒井 正 (74) <令和6年9月> 歯学博士
		高齢者歯科学			高齢者歯科学
兼任	講師	北垣 志麻 (61) <令和6年9月> 歯学士	兼任	講師	北垣 志麻 (59) <令和6年9月> 歯学士
		障害者歯科学			障害者歯科学
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (72) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	Shiba Kumar Rai (70) <令和6年4月> 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・教育内容を充実させるべく、吉田幸恵教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「健康スポーツ科学Ⅰ」、「早期臨地実習」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、福田昌代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、八木孝和教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「健康スポーツ科学Ⅰ」を追加。 ・新規採用に伴い森谷徳文教授を追加。 ・教育内容を充実させるべく、高橋由希子教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、山城圭介教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「人体のふしぎ」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、江崎ひろみ教授の担当授業科目に「早期臨地実習」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、上原弘美准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、室崎友輔講師の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、伴仲謙欣助教の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」、「国際理解」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、水村容子助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、浅枝麻夢可助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、西保亜希助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、濱田道夫教授の担当授業科目に「国際社会論」、「科学技術論」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、塩谷英之教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」、「生命と倫理」を追加。 ・栗岡誠司教授を依願退職に伴い削除。 ・安藤啓司教授を依願退職に伴い削除。 ・教育内容を充実させるべく、大澤佳代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。 ・教育効果に配慮し、鈴木高史教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「国際理解」、「科学技術論」を追加。 ・教育効果に配慮し、松田正文教授の担当授業科目から「人体のふしぎ」、「生命と倫理」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、今井方丈教授を「大学道場miniゼミA」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、南利明教授を「まなぶる」ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、山崎真由美教授の担当授業科目に「英語コミュニケーションⅡ」を追加。 ・教育効果に配慮し高久圭二教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「科学技術論」を追加。 ・長尾厚子教授をに逝去に伴い削除。 ・柳本有二教授を依願退職に伴い削除。 ・教育内容を充実させるべく、十九百君子教授を「大学道場miniゼミB」の科目担当者として追加。 ・生島祥江教授を依願退職に伴い削除。 ・教育内容を充実させるべく、尾崎雅子教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「いのちと共生」を追加。 ・教育効果に配慮し、中田康夫教授の担当授業科目から「コミュニティデザイン」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「情報メディア演習」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、大森雅人教授の担当授業科目に「情報基礎」を追加。 ・教育効果に配慮し光成研一郎教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。 ・教育効果に配慮し中田尚美教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。教育内容を充実させるべく、中田尚美教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。 ・教育効果に配慮し橋本好一教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、中野順子教授を「国際理解」の科目担当者として追加。 ・教育効果に配慮し關雅幸准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。 ・高松邦彦准教授を依願退職に伴い削除。 ・担当授業科目消滅に伴い木村英里准教授を削除。 ・R4.4より魚崎須美氏が教授に昇格。教育効果に配慮し同氏の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、藤原桜准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「国際理解」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、黒野利佐子准教授の担当授業科目に「国際理解」を追加。 ・担当授業科目消滅に伴い岩切由紀教授を削除。 ・教育効果に配慮し立垣祐子准教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。 ・教育内容を充実させるべく、伊東愛准教授を「大学道場miniゼミB」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、笹井隆邦准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、脇本聡美准教授の担当授業科目に「国際理解」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、近藤みづき准教授の担当授業科目に「健康スポーツ科学Ⅱ」を追加。 ・教育効果に配慮し田村周二講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅡ」を削除。 ・教育効果に配慮し澤村暢講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。 ・R4.4より伊藤彰氏が准教授に昇格。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「情報メディア演習」、「暮らしの中の数学」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、桂千広講師の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」、「国際理解」を追加。 ・永島聡講師を依願退職に伴い兼任講師から兼任講師に変更。同氏を「心理臨床学」、「人間関係論」の科目担当者として再任。 ・教育内容を充実させるべく、大城亜水講師の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、島袋梢助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。 ・三浦真希子助教を依願退職に伴い削除。 ・教育内容を充実させるべく、佐野太亮助教の担当授業科目に「情報基礎」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、長谷川大輔助教を「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、市川尚助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」、「情報基礎」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、北川薫助教を「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、紀ノ岡浩美助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、小崎遼介助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。 ・教育効果に配慮し内橋一恵講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「国際社会論」を追加。 ・授業科目消滅に伴い小野昌二講師を削除。 ・教育効果に配慮し千石真理講師の担当授業科目から「英語コミュニケーションⅡ」、「英語Aa (Communicative English Basic)」を削除。 ・教育内容を充実させるべく、Carol K. Dallos講師の担当授業科目に「英語Aa (Communicative English Basic)」を追加。 ・教育内容を充実させるべく、田中達也講師を「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、松本大祐講師を「健康スポーツ科学Ⅰ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、柳敏晴講師を「健康スポーツ科学Ⅱ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、柳本太三講師を「健康スポーツ科学Ⅲ」の科目担当者として追加。 ・教育内容を充実させるべく、金千秋講師の担当授業科目に「国際理解」を追加。 ・授業科目消滅に伴い伴俊作講師を削除。 ・授業科目消滅に伴い本田英理講師を削除。 ・教育内容を充実させるべく、菊地隆之講師を「安全学」の科目担当者として追加。 ・授業科目消滅に伴い児玉正幸講師を削除。 ・授業科目消滅に伴い富士莊貴講師を削除。 ・授業科目消滅に伴い山田勝久講師を削除。 ・授業科目消滅に伴い中川欣也講師を削除。 ・教育内容を充実させるべく、森永速男講師を「災害とまちづくり」の科目担当者として追加。

- (注) ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学編等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) ー② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （Ａ）	助手 （Ａ'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （Ｂ）	助手 （Ｂ'）
6	1	5	5	17	0	2	0	1	2	5	0
(2)	(0)	(1)	(2)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （Ｃ）	助手 （Ｃ'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （Ｄ）	助手 （Ｄ'）
6	1	5	5	17	0	6	1	5	5	17	0
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{1}{5} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C')}}{\text{設置時の計画 (A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
				該 当 な し			
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

[illegible]

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3) \text{ 合計 (D) } + (F)}{(2)-(2) \text{ 設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

[illegible]

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された 附帯事項 (学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。) と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和3年度の実績＞

【第1回SD研修会】（新任教職員研修）

趣 旨：本学の「建学の精神」や沿革、教育理念を理解し本学教職員として望ましい姿勢を培う機会を作る。

出席率：100%

講演者：濱田道夫（学長）、中村忠司（法人本部長）、畑吉節未（SD委員長）

【第2回SD研修会】（保健科学部診療放射線学科新任教員研修会）

趣 旨：2020年度に開設した診療放射線学科の新任教員を対象に、
本学の地域貢献活動等への理解を深める機会を作る。

出席率：100%

講演者：中村忠司（法人本部長・地域交流センター長）

【第3回SD研修会】（ハラスメント防止対策研修会）

趣 旨：アカデミックハラスメントへの理解を深める。

出席率：100%

【第4回SD研修会】（IPEの概念と取り組みについて）

趣 旨：他職種連携の意義や他職種連携教育を取り組むにあたっての基本事項について理解を深める。

出席率：58.4%

講演者：石川雄一（加古川中央市民病院医療監、神戸大学名誉教授）

【第5回SD研修会】（保健科学部診療放射線学科新任教員研修会）

趣 旨：本学口腔保健学科の4年制移行に向け、教育の内容を共通理解するとともに、
多職種連携の一環として今後の方向性について理解を深める。

出席率：74.3%

講演者：八木孝和（口腔保健学科・教授）、福田昌代（口腔保健学科・教授）、山城圭介（口腔保健学科・教授）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎回の研修会実施後、参加者を対象としたアンケート調査を実施。収集・分析したアンケート結果は学内Webサイトに公開し、全教職員に対して周知することは勿論のこと、今後の授業改善等へと繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年実施。原則として全科目を対象とし、授業の最終回時に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては、前期分と後期分を分け、集計したものを「学生へのメッセージ」のデータとして一つに取りまとめ、Webサイトに公開するとともに、事務局・図書館等に据え置くなど、学生がいつでも閲覧できるようにしている。また、教員に対しては、教育の質保証に繋げるべく集計結果を教員各人にフィードバックするとともに、年次報告書として取りまとめ、全教職員に配布するなど、情報公開に努めている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該 当 な し

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人玉田学園は明治41年、神戸市中山手通の地に平凡な市井の人々の善意と熱意で私立家政女学校として誕生した。昭和42年には、「学問と実践、研究と技術を直結することによって、すぐれた職業人、生活にすぐれた能力をもつ有為の人材を養成し、社会的、地域的要請に応えんとするものであること。」を建学の精神に掲げ、神戸常盤短期大学を創設した。その後、平成20年4月に保健科学部医療検査学科及び看護学科の1学部2学科という構成で四年制の神戸常盤大学を創設、さらに平成24年には、教育学部こども教育学科を設置した。開学以降、保健医療・教育の分野において「専門職業人」を養成する大学としてさまざまな分野で活躍できる人材を育成・輩出することにより、地域へ貢献することを広く社会から期待されている。その中で、令和2年4月、保健科学部に新たに診療放射線学科を開設した。これまで、兵庫県内には診療放射線技師養成大学がなく、専門学校のみであったが、文部科学省管轄の養成校としてより良い教育を施したく、当該学科を開設するに至った。当該学科は①社会貢献への意識を持ち、やさしさと倫理観を持った人材、②最新の知識、情報、技術を修得し真のエキスパートになれる人材、③本質を見抜く洞察力と研究的態度を備えた人材、④専門分野近傍の課題等も俯瞰できる力を有し、チーム医療の一翼を担う人材、⑤グローバルな視点で社会の多様なニーズに対応できる人間力のある人材、以上5点の養成する人材像を念頭に診療放射線技師を養成していく。学生の確保については、昨年8月末の指定認可後、全学的に取り組んだ結果、定員75名を充足することができ、併せて、専任教員も計画どおり就任していることから、概ね順調に学科運営がなされている。この結果に甘んじることなく、今後も当該学科の教育理念、並びに養成する人材像等を踏まえ、診療放射線技師養成に鋭意邁進し、ひいては社会貢献へと繋げていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年5月末 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行。併せて、本学Webサイトに公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受審。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。